

## 報告にあたって

武田委員長をはじめ委員の皆様並びに調査チームの皆様には、公私ともに大変お忙しい中を、市立甲府病院の医療安全体制の再構築に向けたご検証をいただき、心から御礼申し上げます。

当院の RI 検査において、日本核医学会の推奨投与量を超えて放射性医薬品を使用した問題につきましては、患者様とそのご家族をはじめ、関係各位に多大なご迷惑とご心配をおかけしているところでございます。

この RI 検査問題を契機として、改めて市立甲府病院の医療安全体制の再構築と、職員一人ひとりの危機管理意識の醸成をはかるとともに、失われた医療の信頼を回復するため、各般にわたる外部専門家により客観的な視点で、実効性のある厳しい評価・検証を受けることとして、医療安全体制等検証委員会を平成 24 年 7 月 17 日に発足したところであります。

第 1 回目の「医療事故防止マニュアルの総論」にはじまり、「放射線関係業務」「薬剤関係業務」「手術室業務」「病棟等業務」「感染対策」「生理・検体等検査関係業務」の 7 分野を通じ、医療安全の多岐にわたり詳細な検証をいただいております。

RI 検査問題を把握して以降、私どもも再発防止に向けて課題への対応や体制の再構築を図ってまいりましたが、検証委員会からのご指摘により改めて多くのことに気付かされました。

ご指摘・ご要望いただきました事項につきましては、迅速かつ的確な改善等に取り組んでまいり、全 308 項目に対して、既に対応を完了しているものが 195 項目(63.3%)となっております。人的・経費的な理由により対応が困難となるものを除く残り 108 項目につきましては、予算措置を要するなどの課題がありますが、できる限り早期に実現するよう努めてまいります。

ここに、改めて全ての指摘事項等に対する市立甲府病院としての対応状況を取りまとめましたので、委員の皆様方に報告させていただきます。

結びに、大変お忙しい中であって多大なるご協力を賜りました委員の皆様方に、重ねて感謝を申し上げますとともに、安心・安全な医療の確立に努め患者様の信頼を確固たるものとするために、全ての病院職員が医療安全への意識を更に高め、日々の業務の中で実践していくことをお約束させていただきます。

平成 25 年 11 月

市立甲府病院

院長 小澤 克良

市立甲府病院医療安全体制等検証委員会

指摘等事項に対する対応結果集計表

検証対象	計	完了	年度内完了	次年度以降 対応	対応困難等
医療事故防止 マニュアル (総論)	14 (100.0%)	4 (28.6%)	9 (64.3%)	1 (7.1%)	0 (0.0%)
放射線関係業務	37 (100.0%)	27 (73.0%)	7 (18.9%)	2 (5.4%)	1 (2.7%)
薬剤関係業務	12 (100.0%)	4 (33.3%)	4 (33.3%)	3 (25.0%)	1 (8.4%)
手術室業務	99 (100.0%)	84 (84.8%)	7 (7.1%)	8 (8.1%)	0 (0.0%)
病棟業務等	75 (100.0%)	47 (62.7%)	17 (22.7%)	8 (10.6%)	3 (4.0%)
感染対策	57 (100.0%)	22 (38.6%)	28 (49.1%)	7 (12.3%)	0 (0.0%)
生理・検体等検査 関係業務	14 (100.0%)	7 (50.0%)	3 (21.4%)	4 (28.6%)	0 (0.0%)
合計	308 (100.0%)	195 (63.3%)	75 (24.4%)	33 (10.7%)	5 (1.6%)